

11.12 景観

実施区域及びその周辺には主要な眺望点及び景観資源があり、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観への影響を及ぼすおそれがあることから、景観の調査、予測及び評価を行いました。

11.12.1 調査結果の概要

1) 調査項目

調査項目は、以下に示すとおりとしました。

また、主要な眺望点及び主要な眺望景観の他に、身近な自然景観として、地域の人々が日常的に利用している場所等の身近な眺望点からの景観についても、地域の景観特性として把握しました。

(1) 主要な眺望点の状況

・主要な眺望点及び身近な眺望点の分布、面積、標高及び利用時期・時間帯等の利用状況

(2) 景観資源の状況

・景観資源の分布、面積、標高及び見どころとなる時期等の自然特性

(3) 主要な眺望景観の状況

・主要な眺望点及び身近な眺望点からの景観資源を眺望する景観の状況

2) 調査手法

主要な眺望点の状況、景観資源の状況の調査は、既存資料調査により把握しました。

既存資料では調査すべき情報が不足すると判断された場合には、主要な眺望点の管理者や関係地方公共団体に対しヒアリング又は現地調査を行い、必要な情報を確認しました。

主要な眺望景観の状況の調査は、写真撮影により視覚的に把握しました。

3) 調査地域

調査地域は、方法書段階の実施区域及びその端部から3km程度の範囲において、主要な眺望点が分布する地域としました。

なお、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきた身の回りの身近な自然景観については、近景域を基本とし、方法書段階の実施区域及びその端部から500m程度の範囲としました。

4) 調査地点

調査地点は、主要な眺望点及び景観資源の分布、視覚的關係及び対象道路の位置等を踏まえ、主要な眺望景観の変化が生じると想定される地点とし、図 11.12.1-1 に示す手順で設定しました。調査地点の設定状況は、表 11.12.1-1 に示すとおりです。

また、身近な自然景観の観点から、地域の人々が日常的に利用している場所や地域の人々に古くから親しまれてきた場所等の身近な眺望点についても設定しました。

調査地点は表 11.12.1-2 に、調査地点の位置は図 11.12.1-2 に示すとおりです。

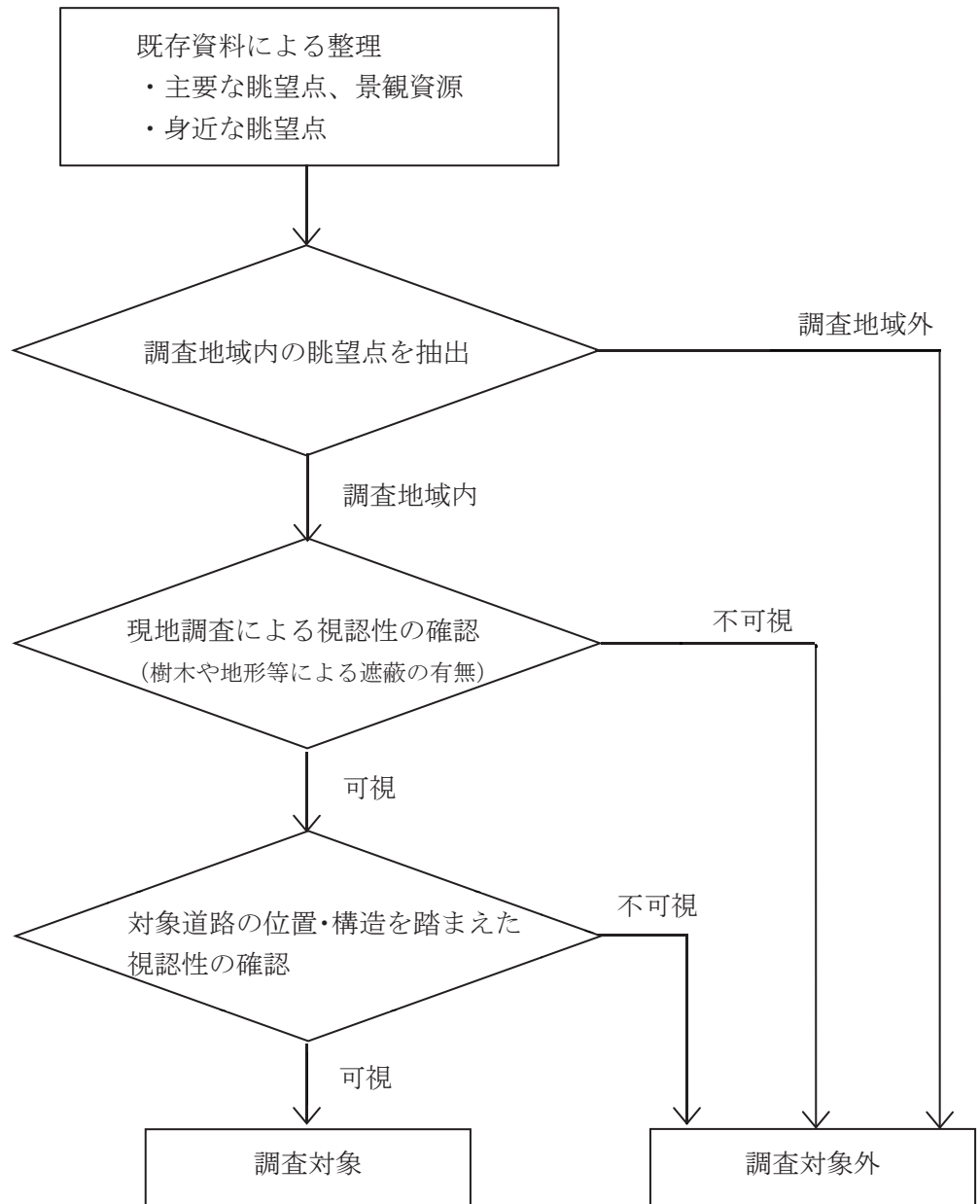


図 11.12.1-1 調査地点の設定手順

表 11.12.1-1 調査地点の設定状況（主要な眺望点）

市名	番号	眺望点	実施区域から眺望点までの距離	視認できる景観資源	対象道路の可視・不可視	調査対象
大分市	1	南蛮 BVNGO 交流館	3km 以遠	大友氏館跡庭園	不可視	
	2	九六位山	3km 以内	大野川	不可視	
	3	鶴賀城跡	3km 以内	大野川	不可視	
	4	円寿寺	3km 以遠	—	不可視	
	5	長曾我部信親墓	3km 以内	—	不可視	
	6	佐野植物公園	3km 以内	—	不可視	
	7	天面山	3km 以内	大野川	不可視	
	8	鏡城跡	3km 以内	大野川	不可視	
	9	戸次本町地区	3km 以内	九六位山等の佐賀関山地、桜	可視	○
	10	奥龍王様	3km 以内	—	不可視	
	11	高ツプロ	3km 以内	—	不可視	
	12	宮尾の竜王山	3km 以内	—	不可視	
臼杵市	13	末広ダム	3km 以内	—	不可視	

出典：「大分県観光情報公式サイト HP／観光スポット」（令和 7 年 12 月現在、公益社団法人 ツーリズムおおいた、大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室）
 「おおいた市観光ナビ／観光スポット」（令和 7 年 12 月現在、一般社団法人 大分市観光協会）
 「判田地区史跡・景観 MAP」（平成 26 年 3 月、大分市市民協働推進課（作成：判田校区健康といやしの里づくり実行委員会））
 「竹中地区史跡・景観図」（平成 27 年、大分市市民協働推進課（作成：竹中校区健康といやしの里づくり実行委員会））
 「戸次地区史跡・景観図」（令和 3 年、大分市市民協働推進課（作成：戸次校区健康といやしの里づくり実行委員会））
 「吉野地区史跡・景観図」（平成 23 年、大分市市民協働推進課（作成：吉野校区健康といやしの里づくり実行委員会））
 「臼杵市景観計画（全体構想編）」（平成 20 年 12 月、臼杵市）

表 11.12.1-2(1) 調査地点（眺望点）

市名	番号	眺望点	調査項目	備考
大分市	I	戸次本町地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な眺望点の状況 ・ 景観資源の状況 ・ 主要な眺望景観の状況 	主要な眺望景観
	①	吉野梅園		身近な自然景観
	②	稻荷社		
	③	大内観音堂		

注 1) 表中の番号は図 11.12.1-2 に対応。

注 2) 身近な自然景観に係る調査地点（身近な眺望点）は、地方公共団体へのヒアリング又は現地踏査により、調査地域に分布する地域の人々が日常的に利用している場所等で、対象道路を視認できる地点を設定しました。

注 3) 地方公共団体へのヒアリングは、大分市商工労働観光部観光課、臼杵市産業観光課、豊後大野市建設課都市計画建築係に実施しました。（令和 6 年 1 月）

表 11.12.1-2(2) 調査地点（景観資源）

番号	所在地	名称	概要	出典
1	大分市	上野丘丘陵地の河成段丘	河成段丘	1
2		大友氏館跡庭園	四季折々の花木	3
3		上野ヶ丘墓地公園	季節の花	3
4		大分川とその流域	大分市を代表する特徴的な景観	13
5		大野川とその流域	大分市を代表する特徴的な景観	4, 5, 13
6		高尾山自然公園	桜の名所	3
7		西寒多神社	ふじの名所、つつじ	2, 3
8		本宮山	非火山性孤峰	1
9		九六位山	大分市を代表する特徴的な景観	13, 15
10		吉野梅園	梅の名所	2, 3
11		犬江釜峡	峡谷・溪谷	1, 9
12		リバーパーク犬飼	桜、紅葉等の名所	2, 9
13		立小野川	河川景観	4
14		立小野の山桜	山桜	4
15		高江川	河川景観	4
16		住床の菜の花	菜の花	4
17		米良川	河川景観	4
18		百本桜（小岳）	桜	4
19		花の景観（黒仁田橋付近）	花	5
20	臼杵市	吉四六ランド	桜の名所、四季折々の花	2, 10, 11, 12, 15
21		普現寺	紅葉の名所	2, 10, 11, 12
22		野津川	河川景観	15
23		末広川	河川景観	15
24		臼杵川	河川景観	15

注) 表中の番号は図 11.12.1-2 に対応

出典：1) 「第3回自然環境保全基礎調査 大分県自然環境情報図」(平成元年、環境庁)

2) 「大分県観光情報公式サイト HP/観光スポット」(令和7年12月現在、公益社団法人 ツーリズムおおいた、大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室)

3) 「おおいた市観光ナビ/観光スポット」(令和7年12月現在、一般社団法人 大分市観光協会)

4) 「判田地区史跡・景観 MAP」(平成26年3月、大分市市民協働推進課 (作成：判田校区健康といやしの里づくり実行委員会))

5) 「竹中地区史跡・景観図」(平成27年、大分市市民協働推進課 (作成：竹中校区健康といやしの里づくり実行委員会))

9) 「豊後大野おでかけマップ」(令和7年12月現在、一般社団法人 ぶんご大野里の旅公社、豊後大野市商工観光課)

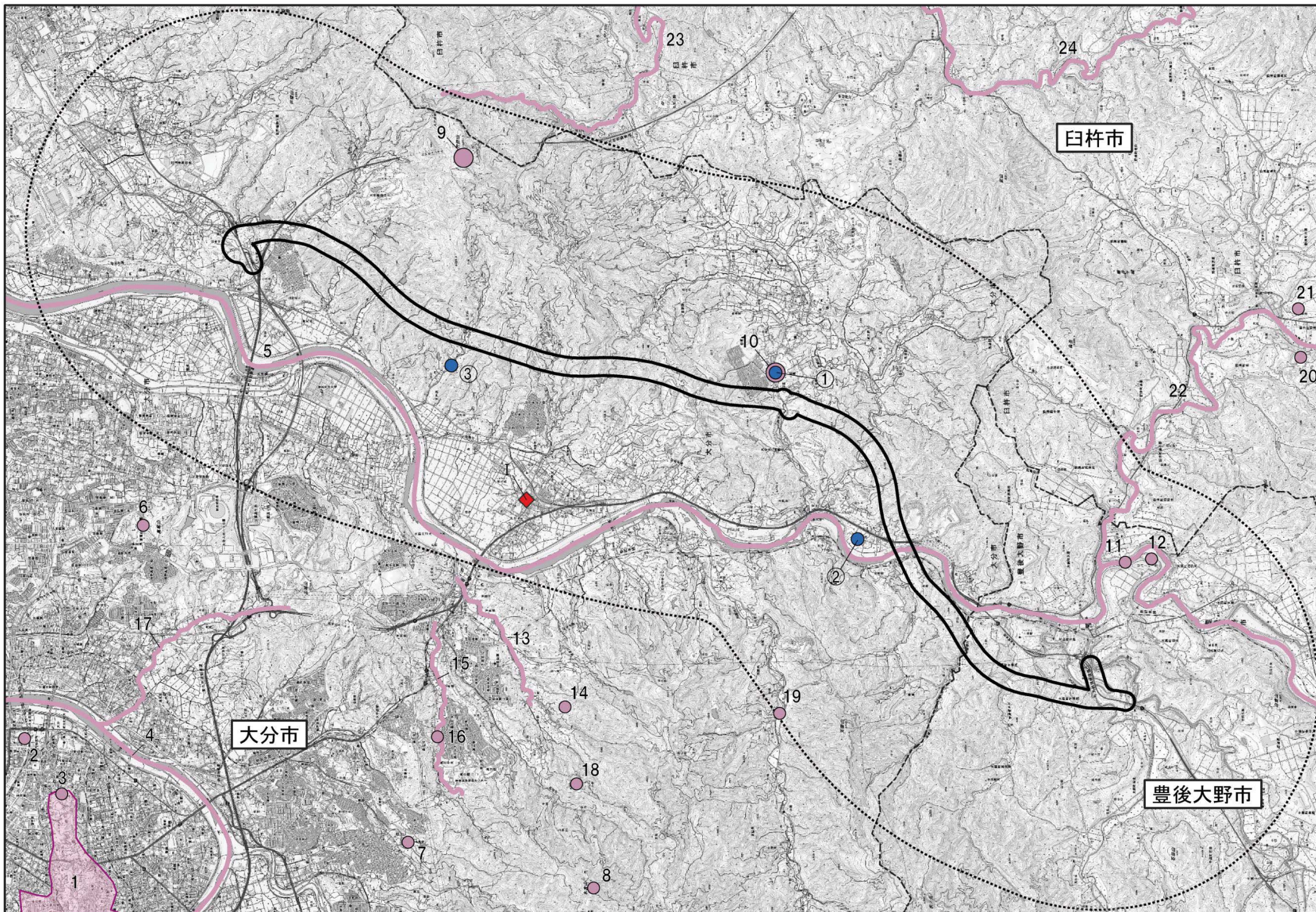
10) 「臼杵市観光協会 HP/観る」(令和7年12月現在、一般社団法人 臼杵市観光協会)

11) 「臼杵市 HP/うすきで充電中 臼杵市観光パンフレット」(令和7年12月現在、臼杵市)

12) 「臼杵市 HP/絵地図 臼杵みてある記」(令和7年12月現在、臼杵市)

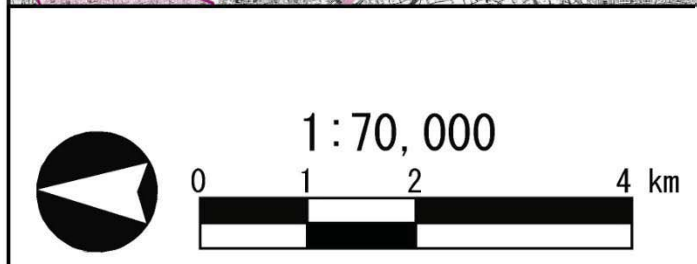
13) 「大分市景観計画」(令和2年6月、大分市)

15) 「臼杵市景観計画(全体構想編)」(平成20年12月、臼杵市)



凡例

- 都市計画対象道路
事業実施区域
- 市町村界
- 調査地域
- 主要な眺望点
- 身近な眺望点
- 景観資源
- 景観資源



注) 図中の番号は表 11.12.1-2 及び表 11.12.2-2 に対応
 出典: 「第3回自然環境保全基礎調査 大分県自然環境情報図」(平成元年、環境庁)
 「大分県観光情報公式サイトHP/観光スポット」(令和7年12月現在、公益社団法人 ツーリズムおおいた、大分県商工観光労働部観光局観光誘致促進室)
 「おおいた市観光ナビ/観光スポット」(令和7年12月現在、一般社団法人 大分市観光協会)
 「判田地区史跡・景観MAP」(平成26年3月、大分市市民協働推進課 (作成: 判田校区健康とやすしの里づくり実行委員会))
 「竹中地区史跡・景観図」(平成27年、大分市市民協働推進課 (作成: 竹中校区健康とやすしの里づくり実行委員会))
 「戸次地区史跡・景観図」(令和3年、大分市市民協働推進課 (作成: 戸次校区健康とやすしの里づくり実行委員会))
 「吉野地区史跡・景観図」(平成23年、大分市市民協働推進課 (作成: 吉野校区健康とやすしの里づくり実行委員会))
 「豊後大野おでかけマップ」(令和7年12月現在、一般社団法人 ぶんご大野里の旅社、豊後大野市商工観光課)
 「臼杵市観光協会HP/観る」(令和7年12月現在、一般社団法人 臼杵市観光協会)
 「臼杵市HP/うすきで充電中 臼杵市観光パンフレット」(令和7年12月現在、臼杵市)
 「臼杵市HP/絵地図 臼杵みてる記」(令和7年12月現在、臼杵市)
 「大分市景観計画」(令和2年6月、大分市)
 「臼杵市景観計画(全体構想編)」(平成20年12月、臼杵市)

電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して作成

図 11.12.1-2 調査地点位置図

5) 調査期間等

現地調査の調査期間は、季節的な眺望の変化を把握するため四季を基本とし、主要な眺望点の利用状況、景観資源の自然特性を考慮し、主要な眺望景観及び身近な自然景観が当該地域において代表的なものとなる時期及び期間としました。

調査期間等は、表 11. 12. 1-3 に示すとおりです。

表 11. 12. 1-3 調査期間等

市名	時期	調査期間	調査地点 (眺望点)	備考
大分市	春季	令和6年4月2日（火）	①吉野梅園 ②稲荷社	桜の開花時期
		令和7年4月2日（水）	I 戸次本町地区 ③大内観音堂	
	夏季	令和6年8月5日（月）	①吉野梅園 ②稲荷社	森林・草地・耕作地の緑の多い時期
		令和7年8月27日（水）	I 戸次本町地区 ③大内観音堂	
	秋季	令和6年11月28日（木）～ 令和6年11月29日（金）	①吉野梅園 ②稲荷社 ③大内観音堂	紅葉の山並み等が確認できる時期
		令和7年11月4日（火）	I 戸次本町地区	
	冬季	令和7年2月25日（火）	I 戸次本町地区 ②稲荷社 ③大内観音堂	梅の開花時期
		令和7年3月12日（水）	①吉野梅園	

6) 調査結果

(1) 主要な眺望点の状況

主要な眺望点の状況の調査結果は、表 11. 12. 1-4 に示すとおりです。

表 11. 12. 1-4 主要な眺望点の状況の調査結果

市名	区分	番号	調査地点 (眺望点)	標高	面積	利用時期	時間帯
大分市	主要な眺望景観	I	戸次本町地区	約 11. 5m	—	年中	終日
	身近な自然景観	①	吉野梅園	約 96. 2m	約 1. 43ha	年中	終日
		②	稻荷社	約 25. 6m	約 0. 16ha	年中	終日
		③	大内観音堂	約 18. 1m	約 0. 01ha	年中	終日

注) 特定の位置の面積の算定が困難な地点については「—」と表記しました。

(2) 景観資源の状況

景観資源の状況の調査結果は、表 11. 12. 1-5 に示すとおりです。

表 11. 12. 1-5 (1) 景観資源の状況の調査結果

番号	名称	標高	面積	自然特性等
1	上野丘丘陵地の河成段丘	約 87. 5m	約 320ha	大分川の流域に分布する段丘のひとつです。見どころとなる時期は年中です。
2	大友氏館跡庭園	約 4. 7m	約 0. 72ha	大友宗麟・義統時代の雄大な池をもつ庭園の姿を復元しており、四季折々の花木を鑑賞できます。見どころとなる時期は年中です。
3	上野ヶ丘墓地公園	約 37m	約 9ha	「花」をテーマに花壇や芝生面積が広く取られている公園です。見どころとなる時期は桜が開花する春季です。
4	大分川とその流域	—	—	大分市景観計画において、大分市の美しい自然景観を代表する景観資源のひとつとして位置付けられています。見どころとなる時期は年中です。
5	大野川とその流域	—	—	大分市景観計画において、大分市の美しい自然景観を代表する景観資源のひとつとして位置付けられています。見どころとなる時期は年中です。
6	高尾山自然公園	約 127. 6m	約 60ha	山をそのまま利用した自然公園で、四季を通して山の自然を楽しむことができます。見どころとなる時期は桜が開花する春季です。
7	西寒多神社	約 49. 4m	約 2. 65ha	藤の名所として知られる神社です。境内に続く神苑では樹齢 100 年余の平戸つつじ (数百株) も満開になります。見どころとなる時期は藤及びつつじが開花する春季です。

注) 特定の位置の標高又は面積の算定が困難な地点については「—」と表記しました。

表 11.12.1-5 (2) 景観資源の状況の調査結果

番号	名称	標高	面積	自然特性等
8	本宮山	約 534.8m	—	山頂付近には本宮社が位置しており、境内は、大分市名木保存条例の指定樹林となっています。見どころとなる時期は年中です。
9	九六位山	約 451.8m	—	大分市景観計画において、大分市の美しい自然景観を代表する景観資源のひとつとして位置付けられています。見どころとなる時期は年中です。
10	吉野梅園	約 96.2m	約 1.43ha	豊後梅、青軸梅、白加賀（しろかが）、寒紅梅などの梅が約 450 本ある大分県内有数の梅の名所です。見どころとなる時期は梅が開花する冬季です。
11	犬江釜峡	—	—	犬飼大橋の上流、延長 1 キロに及ぶ溪谷であり、田能村竹田が名付けたとされています。見どころとなる時期は年中です。
12	リバーパーク犬飼	約 36.7m	約 10.6ha	犬江釜峡の河川空間を使った公園であり、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々に美しい景観を鑑賞できます。見どころとなる時期は年中です。
13	立小野川	—	—	判田地区において地元住民から親しまれている河川景観です。見どころとなる時期は年中です。
14	立小野の山桜	約 64.1m	—	判田地区において地元住民から親しまれている自然景観です。見どころとなる時期は桜が開花する春季です。
15	高江川	—	—	判田地区において地元住民から親しまれている河川景観です。見どころとなる時期は年中です。
16	住床の菜の花	約 38.2m	—	判田地区において地元住民から親しまれている自然景観です。見どころとなる時期は菜の花が開花する春季です。
17	米良川	—	—	判田地区において地元住民から親しまれている河川景観です。見どころとなる時期は年中です。
18	百本桜（小岳）	約 246.8m	—	判田地区において地元住民から親しまれている自然景観です。見どころとなる時期は桜が開花する春季です。
19	花の景観（黒仁田橋付近）	約 56.9m	—	竹中地区において地元住民から親しまれている自然景観です。見どころとなる時期は春季です。

注) 特定の位置の標高又は面積の算定が困難な地点については「—」と表記しました。

表 11.12.1-5 (3) 景観資源の状況の調査結果

番号	名称	標高	面積	自然特性等
20	吉四六ランド	約 103.3m	約 15ha	約 15 万平方メートルの総合施設です。春には樹齢約 40 年、2,000 本のソメイヨシノが咲き、県下有数の桜の名所として知られています。見どころとなる時期は桜が開花する春季です。
21	普現寺	約 118.5m	約 2ha	臨済宗妙心寺派の寺院であり、紅葉の名所としても知られています。見どころとなる時期は紅葉を鑑賞できる秋季です。
22	野津川	—	—	白杵市を代表する河川であり、農地等と一体となり横断的に奥行きのある自然的景観を形成しています。見どころとなる時期は年中です。
23	末広川	—	—	白杵市を代表する河川であり、農地等と一体となり横断的に奥行きのある自然的景観を形成しています。見どころとなる時期は年中です。
24	白杵川	—	—	白杵市を代表する河川であり、農地等と一体となり横断的に奥行きのある自然的景観を形成しています。見どころとなる時期は年中です。

注) 特定の位置の標高、面積の算定が困難な地点については「—」と表記しました。

(3) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望景観の状況の調査結果は表 11.12.1-6 に、身近な自然景観の状況の調査結果は表 11.12.1-7 に示すとおりです。

表 11.12.1-6 主要な眺望点の状況、景観資源の状況及び主要な眺望景観の状況の調査結果

主要な眺望点	I 戸次本町地区	写真撮影の位置と方向
<p>主要な眺望景観の状況</p>	<p>視点の位置は戸次本町ふれあい広場内であり、九六位山等の佐賀関山地や広場内の樹木を眺望できます。春季は桜が開花し、良好な眺望が得られます。</p>	
<p>冬季（令和7年2月25日（火））</p> 	<p>春季（令和7年4月2日（水））</p> 	
<p>夏季（令和7年8月27日（水））</p> 	<p>秋季（令和7年11月4日（火））</p> 	

表 11.12.1-7 (1) 身近な眺望点の状況、景観資源の状況及び身近な自然景観の状況の調査結果

身近な眺望点	①吉野梅園	写真撮影の位置と方向
<p>身近な自然景観の状況</p>	<p>視点の位置は吉野梅園内の東屋付近であり、冬季は梅が開花し、良好な眺望が得られます。</p>	
<p>冬季（令和7年3月12日（水））</p> 		<p>春季（令和6年4月2日（火））</p> 
<p>夏季（令和6年8月5日（月））</p> 		<p>秋季（令和6年11月29日（金））</p> 

表 11.12.1-7 (2) 身近な眺望点の状況、景観自然の状況及び身近な自然景観の状況の調査結果

身近な眺望点	②稲荷社	写真撮影の位置と方向
<p>身近な自然景観の状況</p>	<p>視点の位置は神社の入り口付近であり、耕作地や樹林を眺望できます。夏季は耕作地の緑が映え、良好な眺望が得られます。</p>	
<p>冬季 (令和7年2月25日 (火))</p> 	<p>春季 (令和6年4月2日 (火))</p> 	
<p>夏季 (令和6年8月5日 (月))</p> 	<p>秋季 (令和6年11月29日 (金))</p> 	

表 11.12.1-7 (3) 身近な眺望点の状況、景観自然の状況及び身近な自然景観の状況の調査結果

身近な眺望点	③大内観音堂		写真撮影の位置と方向
身近な自然景観の状況	視点の位置は観音堂の入り口付近であり、九六位山等の佐賀関山地や耕作地を眺望できます。春季は耕作地等の花々が開花し、良好な眺望が得られます。		
冬季 (令和7年2月25日 (火)) 		春季 (令和7年4月2日 (水)) 	
夏季 (令和7年8月27日 (水)) 		秋季 (令和6年11月28日 (木)) 	

11.12.2 道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観

1) 予測の結果

(1) 予測項目

予測項目は、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在による主要な眺望点及び景観資源の改変、主要な眺望景観の変化の程度としました。

(2) 予測手法

道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観の予測は、「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）国総研資料 第714号 14.1」（平成25年3月、国土技術政策総合研究所・土木研究所）に基づき行いました。

① 主要な眺望点及び景観資源の改変

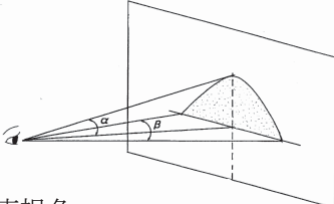
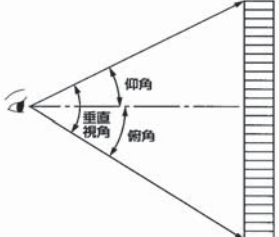
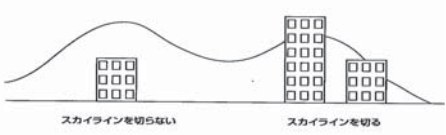
主要な眺望点、身近な眺望点及び景観資源と対象道路を重ね合わせ、図上解析を行うことで、改変の位置及び程度を把握することにより予測しました。

② 主要な眺望景観の変化

フォトモンタージュ法による視覚的な表現方法により、主要な眺望景観及び身近な自然景観の変化の程度を把握するとともに、対象道路の目立ちやすさを示す物理的指標を用い、主要な眺望景観及び身近な自然景観の変化の程度が人間に与える影響（圧迫感、目立ちやすさ等）を整理することにより予測しました。

視覚に関する物理的指標は、表 11.12.2-1 に示すとおりです。

表 11.12.2-1 視覚に関する物理的指標

指 標	内 容	
視距離	<p>視距離によって施設等の認知を規定する要因（テクスチャー、色彩、形態等）が変化するので、保全水準の達成の程度の判定及び保全対策の立案の指標としても役立ちます。</p>	<p>景観の視距離を近景・中景・遠景と区分すると、この3区分は対象によってその絶対的距離は異なってきますが、概ね以下のような感覚でとらえられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近景…対象の色彩、テクスチャー、ディテールが目につきやすい（500m程度以内） ・中景…対象全体の形態がとらえやすく、対象が景観の主体になる（500m～3km程度） ・遠景…対象が景観のごく一部となる（3km程度以遠）
水平見込角	<p>視点からの対象の見えの大きさをあらわす指標で、視点から対象を見込む水平見込み角を指標値として用います。</p>	<p>水平見込角が 10° を超えると対象構造物は目立つようになります。</p>  <p>α : 垂直視角 β : 水平見込角</p>
仰角	<p>仰角とは、対象物の上端と視点を結ぶ線と水平線のなす角です。構造物に見える面積とほぼ比例関係にある仰角を圧迫感の指標として用います。仰角が大きいと圧迫感を感じます。</p>	<p>仰角は 18° を超えると圧迫感を感じ始め、30° では対象物が全視野を占め圧迫感が残ります（メルテンスの法則）。</p> <p>また、俯角 10° 付近は俯瞰景観における中心領域であるといわれており、実施区域がその周辺に位置する場合は目につきやすくなります。</p>
俯角	<p>対象物の下端と視点を結ぶ線と水平線のなす角です。俯瞰景観においては、俯角が目につき易さの重要な指標となります。</p>	
スカイライン切断の有無	<p>スカイラインは山が空を背景として描く輪郭線のことです。</p>	<p>スカイラインの連続性が切断される場合、景観上の支障が大きくなるとされています。</p> 

出典：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）国総研資料 第714号 14.1」（平成25年3月、国土技術政策総合研究所・土木研究所）

③ 予測地域

予測地域は、主要な眺望点又は身近な眺望点並びに景観資源の改変が生じると想定される地域、主要な眺望景観又は身近な自然景観の変化が生じると想定される地域としました。

④ 予測地点

予測地点は、主要な眺望点及び景観資源の分布、視覚的關係及び対象道路との位置等を踏まえ、主要な眺望景観又は身近な自然景観の変化が生じると想定される眺望点とし、調査地点と同様の地点としました。

予測地点は表 11.12.2-2に、予測地点の位置は図11.12.1-2に示すとおりです。

表 11.12.2-2 予測地点

市名	区分	番号	予測地点（眺望点）	景観資源
大分市	主要な眺望景観	I	戸次本町地区	九六位山等の佐賀関山地、桜
	身近な自然景観	①	吉野梅園	梅
		②	稲荷社	耕作地
		③	大内観音堂	九六位山等の佐賀関山地、耕作地

注) 表中の番号は図 11.12.1-2 に対応

(3) 予測対象時期等

予測対象時期は、対象道路の完成時において、主要な眺望点及び身近な眺望点の利用状況（利用時期等）、景観資源の自然特性（見どころとなる時期等）を踏まえ、主要な眺望点及び身近な眺望点、景観資源、主要な眺望景観及び身近な自然景観に係る影響を明らかにする上で必要な時期としました。

主要な眺望景観の変化に係る予測対象時期（季節）等は、表 11.12.2-3 に示すとおりです。

表 11.12.2-3 予測対象時期等

市名	区分	番号	予測地点（眺望点）	景観資源	予測対象時期（季節）
大分市	主要な眺望景観	I	戸次本町地区	九六位山等の佐賀関山地、桜	春季
	身近な自然景観	①	吉野梅園	梅	冬季
		②	稲荷社	耕作地	夏季
		③	大内観音堂	九六位山等の佐賀関山地、耕作地	春季

(4) 予測結果

① 主要な眺望点及び景観資源の改変

主要な眺望点及び身近な眺望点については、対象道路による改変はありません。景観資源の改変に係る予測結果は、表 11.12.2-4 に示すとおりです。

表 11.12.2-4 (1) 予測結果 (景観資源の改変)

番号	景観資源	予測結果
1	上野丘丘陵地の河成段丘	景観資源は対象道路から約 9.1km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
2	大友氏館跡庭園	景観資源は対象道路から約 8.6km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
3	上野ヶ丘墓地公園	景観資源は対象道路から約 9.2km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
4	大分川とその流域	景観資源は対象道路から約 7.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
5	大野川とその流域	対象道路は景観資源を橋梁構造で通過し、道路の存在により景観資源の一部が改変されますが、大部分が残されます。 よって、景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
6	高尾山自然公園	景観資源は対象道路から約 4.5km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
7	西寒多神社	景観資源は対象道路から約 8.2km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
8	本宮山	景観資源は対象道路から約 8.4km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
9	九六位山	景観資源は対象道路から約 2.6km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
10	吉野梅園	景観資源は対象道路から約 300m 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
11	犬江釜峡	景観資源は対象道路から約 2.0km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
12	リバーパーク犬飼	景観資源は対象道路から約 2.2km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。

表 11.12.2-4 (2) 予測結果（景観資源の改変）

番号	景観資源	予測結果
13	立小野川	景観資源は対象道路から約 3.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
14	立小野の山桜	景観資源は対象道路から約 5.6km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
15	高江川	景観資源は対象道路から約 4.6km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
16	住床の菜の花	景観資源は対象道路から約 6.4km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
17	米良川	景観資源は対象道路から約 5.5km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
18	百本桜（小岳）	景観資源は対象道路から約 6.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
19	花の景観（黒仁田橋付近）	景観資源は対象道路から約 3.1km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
20	吉四六ランド	景観資源は対象道路から約 6.3km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
21	普現寺	景観資源は対象道路から約 7.0km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
22	野津川	景観資源は対象道路から約 2.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
23	末広川	景観資源は対象道路から約 4.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
24	臼杵川	景観資源は対象道路から約 5.8km 離れているため、景観資源の改変は生じません。 よって、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。

② 主要な眺望景観の変化

各予測地点における視覚に関する物理的指標の検討結果は表 11.12.2-5 に、主要な眺望景観の予測結果は表 11.12.2-6 に、身近な自然景観の予測結果は表 11.12.2-7 に示すとおりです。

表 11.12.2-5 視覚に関する物理的指標の検討結果

市名	区分	番号	予測地点 (眺望点)	視距離	水平 見込角	仰角	俯角	スカイライン の切断
大分市	主要な 眺望景観	I	戸次本町地区	約 2,300m	1.42°	2.57°	-	なし
	身近な 自然景観	①	吉野梅園	約 400m	0.76°	-	4.1°	なし
		②	稲荷社	約 700m	25.78°	2.96°	-	あり
		③	大内観音堂	約 500m	10.04°	5.89°	-	なし

表 11.12.2-6 予測結果（主要な眺望景観）

主要な眺望点と直接改変の有無		I 戸次本町地区：直接改変なし		主要な自然景観の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・本眺望景観は、景観資源として九六位山等の佐賀関山地を望めます。また、身近な自然景観を形成する桜を望めます。 ・対象道路は中景に位置し、大分市中戸次の橋梁部が視野に含まれ、水平見込角は1.42°と構造物が目立ちにくい値となっており、仰角は2.57°と小さく圧迫感はほとんど生じない角度に抑えられています。 ・対象道路と景観資源である九六位山等の佐賀関山地や桜との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。また、スカイラインの切断は生じません。 ・構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観と調和したデザイン、色彩の検討を行います。 ・よって、戸次本町地区からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。 	写真撮影の位置と方向 
景観資源と直接改変の有無		九六位山等の佐賀関山地、桜：直接改変なし			
視覚に関する物理的指標	視距離	約2,300 m			
	水平見込角	1.42°			
	仰角・俯角	仰角 2.57°			
	スカイラインの切断	なし			
現在の風景					
将来の風景					
改変される位置					

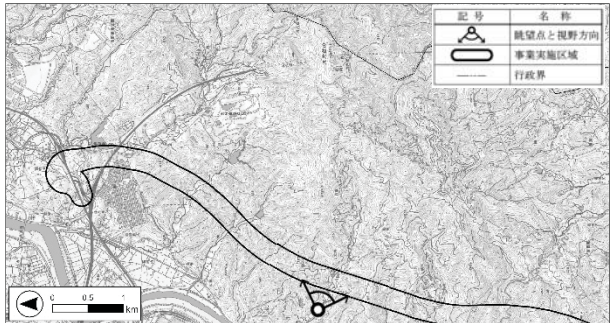

表 11.12.2-7 (1) 予測結果 (身近な自然景観)

身近な眺望点と直接改変の有無		①吉野梅園：直接改変なし		身近な自然景観 の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本眺望景観は、景観資源として梅を望めます。 ・対象道路は近景に位置し、大分市萩尾の盛土部が視野に含まれ、水平見込角は0.76°と構造物が目立ちにくい値となっており、俯角は4.1°と俯瞰景観の中心から外れています。 ・対象道路と景観資源である梅との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。また、スカイラインの切断は生じません。 ・法面等は可能な限り緑化を行い、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観と調和したデザイン、色彩の検討を行います。 ・よって、吉野梅園からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。 	写真撮影の位置と方向 
景観資源と直接改変の有無		梅：直接改変なし				
視覚に関する 物理的指標	視距離	約400 m				
	水平見込角	0.76°				
	仰角・俯角	俯角 4.1°				
	スカイラインの切断	なし				
現在の風景						
将来の風景						
改変される位置						

表 11.12.2-7 (2) 予測結果 (身近な自然景観)

身近な眺望点と直接改変の有無		②稲荷社：直接改変なし		身近な自然景観 の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本眺望景観は、身近な自然景観を形成する耕作地を望めます。 ・対象道路は中景に位置し、大分市上戸次の橋梁部が視野に含まれ、水平見込角は 25.78° と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、仰角は 2.96° と小さく圧迫感はほとんど生じない角度に抑えられています。 ・対象道路と景観資源である耕作地との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。また、スカイラインの切断はありますが、僅かです。 ・構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観と調和したデザイン、色彩の検討を行います。 ・よって、稲荷社からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。 	<p>写真撮影の位置と方向</p> 
景観資源と直接改変の有無		耕作地：直接改変なし				
視覚に関する 物理的指標	視距離	約 700 m				
	水平見込角	25.78°				
	仰角・俯角	仰角 2.96°				
	スカイラインの切断	あり				
現在の風景						
将来の風景						
改変される位置						

表 11.12.2-7 (3) 予測結果 (身近な自然景観)

身近な眺望点と直接改変の有無		③大内観音堂：直接改変なし		身近な自然景観 の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本眺望景観は、景観資源として九六位山等の佐賀関山地を望めます。また、身近な自然景観を形成する耕作地を望めます。 ・対象道路は近景～中景に位置し、大分市下戸次の橋梁部が視野に含まれ、水平見込角は 10.04° と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、仰角は 5.89° と小さく圧迫感はほとんど生じない角度に抑えられています。 ・対象道路と景観資源である九六位山等の佐賀関山地や耕作地との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されません。また、スカイラインの切断は生じません。 ・構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観と調和したデザイン、色彩の検討を行います。 ・よって、大内観音堂からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。 	写真撮影の位置と方向 
景観資源と直接改変の有無		九六位山等の佐賀関山地、耕作地：直接改変なし				
視覚に関する 物理的指標	視距離	約 500 m				
	水平見込角	10.04°				
	仰角・俯角	仰角 5.89°				
スカイラインの切断		なし				
現在の風景						
将来の風景						
改変される位置						

2) 環境保全措置の検討

(1) 環境保全措置の検討

予測の結果から、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観への影響について、事業者の実行可能な範囲内で、環境影響をできる限り回避又は低減することを目的として、環境保全措置の検討を行いました。検討した環境保全措置は、表 11.12.2-8 に示すとおりです。

環境保全措置の検討にあたっては、複数案の検討を行い、効果の確実性及び他の環境への影響等を検討した結果、「構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩の検討」、「法面等の緑化」を採用することとしました。

表 11.12.2-8 環境保全措置の検討

環境保全措置	効果の内容	環境保全措置の検討	他の環境への影響
構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩の検討	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより、周辺景観との調和が見込まれます。	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩の検討を行うことにより、周辺景観との調和が見込め、眺望景観の変化を低減できる環境保全措置です。	人と自然との触れ合いの活動の場への影響の低減が見込まれます。
法面等の緑化	現地の状況に応じて可能な範囲内で道路法面等の緑化を行うことにより、周辺景観との調和が見込まれます。	法面等の緑化を行うことにより、周辺景観との調和が見込め、眺望景観の変化を低減できる環境保全措置です。	外来草本種のみでの緑化では、周辺の動物・植物・生態系への影響が生じるおそれがあるので、それらに配慮する場合は周辺地域に存在する種を使用することが望ましいです。 また、人と自然との触れ合いの活動の場への影響の低減が見込まれます。

(2) 検討結果の検証

実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

(3) 検討結果の整理

採用した環境保全措置について整理した結果は、表 11.12.2-9 に示すとおりです。

なお、環境保全措置の実施主体は、事業者です。

表 11.12.2-9 (1) 環境保全措置の検討結果の整理

実施内容	種類	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩の検討
	位置	眺望点より視認できる対象道路
保全措置の効果		構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより、周辺景観との調和が見込まれます。
効果の不確実性		—
他の環境への影響		人と自然との触れ合いの活動の場への影響の低減が見込まれます。

注) 環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

表 11.12.2-9 (2) 環境保全措置の検討結果の整理

実施内容	種類	法面等の緑化
	位置	眺望点より視認できる対象道路
保全措置の効果		現地の状況に応じて可能な範囲内で道路法面等の緑化を行うことにより、周辺景観との調和が見込まれます。
効果の不確実性		—
他の環境への影響		外来草本種のみでの緑化では、周辺の動物・植物・生態系への影響が生じるおそれがあるので、それらに配慮する場合は周辺地域に存在する種を使用することが望ましいです。 また、人と自然との触れ合いの活動の場への影響の低減が見込まれます。

注) 環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定します。

3) 事後調査

予測の手法は、科学的知見に基づくものであり、予測の不確実性は小さいと考えられます。また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に蓄積されていると判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は行わないものとします。

4) 評価の結果

(1) 評価手法

① 回避又は低減に係る評価

回避又は低減に係る評価については、予測の結果並びに環境保全措置の検討結果を踏まえ、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観に関する影響が、実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかについて評価しました。

(2) 評価結果

① 回避又は低減に係る評価

対象道路は位置及び基本構造の検討段階から、できる限り主要な眺望点及び景観資源の通過を避け、環境影響を回避又は低減させた計画としています。

さらに、環境影響をできる限り回避又は低減するための環境保全措置として、「構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩の検討」、「法面等の緑化」を、事業実施段階において現地条件等を勘案し必要に応じて実施します。

したがって、環境への影響は事業者の実行可能な範囲内で、回避又は低減が図られているものと評価しました。